

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（総合芸術コース美術・工芸専攻）

項 目	陶芸	対象学年	1 年	場所	美術室
テーマ	手びねりで碗を作る(全のべ4回・ただし他の課題と重なります)				
講 師	陶芸家 赤松真木				
<p>講義内容</p> <p>陶芸初めての授業です。</p> <p>土に触って、練って、まずは「手びねり」という技法を学びます。</p> <p>土は赤土、釉薬は一番扱いやすい透明釉を使います。</p> <p>作陶、削り、白化粧、乾燥、素焼き、絵付け（下絵付け）、釉掛（透明釉）、等の基本的な工程を一学期間かけて学習します。</p> <p>自分の力で丁寧に仕上げます。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>完成品は一つですが、丁寧に仕上げた初作品はとてもいいものです。まずは陶芸を体験するつもりで挑戦していただきます。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（総合芸術コース美術・工芸専攻）

項目	陶芸	対象学年	1 年	場所	美術室
テーマ	たたらづくりで皿を作る(全のべ4回・ただし他の課題と重なります)				
講師	陶芸家 赤松真木				
講義内容					
<p>2作品目はたたらづくりを学びます。</p> <p>たたらという粘土の板を作って、板状の粘土の特性を生かした皿づくりに挑戦します。</p> <p>白土を使い、釉薬は色釉にも挑戦です。</p> <p>少しずつ陶芸らしくなり、少し難しく感じるかもしれません。</p>					
講師よりメッセージ					
<p>土の事、火の事、陶芸らしい難しさを少しずつ楽しく学びたいと思います。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（総合芸術コース美術・工芸専攻）

項 目	陶芸	対象学年	1 年	場所	美術室
テーマ	ひもづくりでコップを作る(全のべ4回・ただし他の課題と重なります)				
講 師	陶芸家 赤松真木				
<p>講義内容</p> <p>ひもづくりでコップを制作します。</p> <p>ほそいひも状の粘土を積み上げていきます。</p> <p>ひも作りは単純ですが色々な形の物を作る事ができる便利な技法です。</p> <p>3作品目なので、土は赤、白を自分で選んで使います。</p> <p>使えるコップを目指して制作します。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>一年生最後の作品なので、先の工程を考えながら制作できればと思います。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（総合芸術コース美術・工芸専攻）

項目	陶芸	対象学年	1 年	場所	美術室
テーマ	粘土再生				
講師	陶芸家 赤松真木				
講義内容					
<p>粘土とはどうやって作るのか。</p> <p>そういう事を少しだけ想像できるように、硬くなった粘土を再生します。</p> <p>再生粘土の使い方や、粘土の保管についても再確認します。</p>					
講師よりメッセージ					
<p>ただ材料を消費するのではなく、材料を大切に使うことを考えたいと思います。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（総合芸術コース美術・工芸専攻）

項目	陶芸	対象学年	1 年	場所	現地
テーマ	校外学習				
講師	陶芸家 赤松真木				
講義内容					
陶芸作品の鑑賞を通して、陶芸の優れた作品を学びます。					
講師よりメッセージ					
一人でただながめるだけではない鑑賞を楽しみましょう。					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）総合芸術コース美術・工芸専攻

項目	美術	対象学年	1年	場所	美術室他
テーマ	<p>絵画技法の基本を学ぶ</p> <p>1. 絵画入門（鉛筆画）</p> <p>2. 鉛筆画及び淡彩画</p> <p>美術館で美術鑑賞と模写を学ぶ</p> <p>1. 校外学習「神戸市立小磯記念美術館での美術鑑賞」</p>				
講師	神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授 勅使河原君江				
講義内容	<p>絵画技法の基本を学ぶ</p> <p>1. 絵画入門（鉛筆画）全1回</p> <p>様々な硬さの鉛筆を使用して、鉛筆の多様な表現方法に挑戦する。</p> <p>2. 鉛筆画及び淡彩画 全2回</p> <p>静物のモチーフを観察して絵画表現を楽しむ。</p> <p>モチーフの形を観察し、光の方向や陰影、物の質感の特徴をとらえ、立体感や空間感を表現する。</p> <p>美術館で美術鑑賞と模写を学ぶ</p> <p>1. 校外学習「神戸市立小磯記念美術館での美術鑑賞」全1回</p> <p>美術館で、鑑賞と模写に挑戦し総合的に美術鑑賞を深める。</p> <p>対話型美術鑑賞（美術館スタッフ及び鑑賞者同士で対話をしながら美術鑑賞を深める方法）を行う。鑑賞後、美術館の作品を模写する。</p>				
講師よりメッセージ	<p>絵画表現の基本を学びます。鉛筆の作品制作から、水彩画（淡彩画）へと進めつつ、自己の表現を思索していきましょう。</p>				

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）総合芸術コース美術・工芸専攻

項目	美術	対象学年	1年	場所	美術室他
テーマ	1. 油絵及びアクリル画入門 2. 色彩についてマチエール研究				
講師	神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授 岸本吉弘				
講義内容 1. 油絵（及びアクリル画）入門 全1回 油絵（アクリル絵具の）描画材として特徴を、実践を交えながら慣れ親しみます。絵の具の選び方、画用液（溶き油など）の種類と選び方、筆のナイフの使い方、混色や下地作り、画材類の管理などを、実践を通じて丁寧に指導します。 2. 色彩について／マチエール研究 全1回 色彩については、無彩色や有彩色、三原色と混色、色相環（補色対比）などの一般的な色についての内容を学び、それらを油絵での混色や色彩表現（配色の工夫）などへと生かします。 油絵の大きな特徴である豊かなマチエール（表情）について、筆やナイフなどの道具を中心に様々なマチエールを工夫し作り上げ、油絵での表現へと発展させます。					
講師よりメッセージ 油彩画には西洋において古くからの歴史も有り、本格的な絵画技法でもあります。まずは苦手意識を持たず、慣れ親しむことがポイントです。一緒に楽しみましょう！					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）総合芸術コース美術・工芸専攻

項目	美術	対象学年	1年	場所	美術室他
テーマ	<p>多様な美術分野を幅広く学ぶ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 美術表現による古典と創造（田中久和） 2. 自然と遊ぶ -石ころアート-（毛利泰久） 3. 一版多色刷り木版画（鍬田和見） 4. 木は生きている（笹倉徹） 5. 人物デッサンの模写（鍬田和見） 				
講師	田中久和、毛利泰久、笹倉徹、鍬田和見				
講義内容	<p>多様な美術分野を幅広く学ぶ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 美術表現による古典と創造（田中久和）全1回 美術の古典について学びます。伝統的な美術表現から美術の基本をたくさん読み取りましょう。 2. 自然と遊ぶ -石ころアート-（毛利泰久）全1回 絵は紙に描くだけではありません！この授業では、石を何かの形に見立てて、絵を描きます。思いもよらない表現を楽しみましょう。 3. 一版多色刷り木版画（鍬田和見）全3回 一枚の版木を使ってさまざまな色（多色）な班表現に取り組みます。 版による複数芸術の手法と特徴を理解し、版画独自の表現を学びます。 4. 木は生きている（笹倉徹）全1回 日本人にとって生活の身近に存在する木の特性を理解し木が持つ美しさや利点を知りましょう。 5. 人物デッサンの模写（鍬田和見）全1回 画家が描いた人物画を模写して、人物デッサンに挑戦します。人体の構造や動きを理解するとともに、人物の内面性に迫る表現等、人物表現の基本を学びましょう。 				
講師よりメッセージ	<p>美術の歴史を学んだり、石ころアート、版画制作、モデルを使っての人物デッサンなど、多様な美術の世界を知る授業です。美術の様々な世界に積極的に取り組みましょう！</p>				

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（総合芸術コース美術工芸専攻）

項目	美工	対象学年	1年	場所	美術室
テーマ	美術表現における古典と創造				
講師	大阪教育大学名誉教授 田中 久和				
<p>講義内容</p> <p>近代美術史においてもっとも創造的であったヴァン・ゴッホの芸術を見るとき、作家としての短い生涯において、しばしばレンブラントなどの古典絵画を写したり、日本の浮世絵を模写していることがわかる。</p> <p>また20世紀美術史の神話的存在であったパブロ・ピカソのキャリアを見ても、彼が古典美術から影響を受けるだけではなく、ヴェラスケスなどの古典絵画を写しながら、独特の解釈を行って創作を展開している。</p> <p>こうした事例からもかわるように、新しい表現を追求する作家が、自ら進んで古典美術に学び、創作へのヒントを得ようとするのは、興味深い問題である。</p> <p>美術の制作活動を通して、自らの個性やヴィジョンを追求しようとするとき、誰にとっても、古典作品との対話は欠かせない体験であろう。</p> <p>こうした古典と創造との関係について、主に関西の美術館で開催されている展覧会を事例としながら具体的に検討していきたい。</p> <p>同時に優れた創作を行なった美術家が、また優れた鑑賞家であったという問題についても考察を試みる。</p> <p>美術の創作力というものが、デッサンを初めとするテクニックの習熟に拠るだけではなく、古典作品の良さを味わう鑑賞力にも拠ることは、注目すべき問題だからである。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>授業で説明する美術作品の図版プリントを受講者に配布しますので、それを見ながら自分の感覚で意見を作るように期待しています。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（総合芸術コース美術・工芸専攻）

項 目	美工	対象学年	1年	場所	美術室
テーマ	自然と遊ぶ～ 石ころアート				
講 師	造形作家、漫画家、イラストレーター 毛利泰房				
<p>講義内容</p> <p>子供の頃 ポケットの中によく 小さな石ころが入っていました。そして 大人になった今も 山や河、海岸などに行った時など足元に転がっている石ころが気になってつい持ち帰ってしまいます。</p> <p>長い時間をかけて自然が作り出したその石ころにちょっと手を加えて 面白くて可愛い動物に変身させます。そして あなただけの楽しい「石ころ動物園」を作ってみませんか！もしお持ちの石ころがあればお持ちください！あなたが見つけたおもしろ動物が出来上がります。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>今までいろいろな生徒さんにお会いして 皆さんの熱心な活動 感激しております。いつまでも若い青春時代を送られておられる授業風景すばらしいですね！私もすっかり年長さん！皆様に負けないように 頑張って作品作りしますので お互い頑張りましょう！ 何時か又 新しい生徒さんにお会いできますように・・・</p>					